

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 南小岩保育園

テーマ「 感触あそび 」



あたたかい、冷たい、柔らかい、硬い…等の感触を遊びの中で楽しめることはできないかと考え、様々な感触遊びを取り入れました。遊んでいく中で、子ども達から「〇〇みたい」「触ると気持ちいね！」など色々な言葉が聞かれ、たくさんの発見もありました。



スライム遊び

初めて見るスライムに「何これ？」と興味津々の子ども達。恐る恐る触ってみると、「ぷよぷよ〜！」とスライムの感触を思う存分、楽しんでいました。

色氷遊び

色がついた氷を触ってみると「冷た〜い！」とビックリ！そして、色が出てくる事に気づき「色が出てくる〜！」「氷でスルスルお絵描きできるよ！」と大喜びでした。



?ボックス

箱の中身は何か？ドキドキ・わくわくしながら、箱の中にそっと手を入れていました。感じた感触を「ふわふわする！」「あったかいかも…？」手で感じたことをみんなに伝えて楽しみました。



あし湯

タライの中にはあったかいお湯が…！冬の寒い日に、あし湯に入ってからお昼寝に向かいます。「ああ～気持ちいい～」
「あったかい。」「ポカポカしてきた。」足から体が温まる事に気づいたり、眠くなってきたり、とても気持ちよさそうにしていました。

あわ遊び

ふわふわの泡に大喜び！ギュッと握ってみたり、色々な所に泡を付けて楽しんだりしていました。「アイスいかがですか～？」泡のアイス屋さんも開店しました。とても楽しんで遊んでいました。



まとめ

遊びを通して、子どもたちと一緒に様々な感触を味わいました。
新たな取り組みを行うたびに、子どもたちはいつも瞳を輝かせ、夢中になって遊んでいました。
驚きや発見は子どもだけでなく、私たち保育士にとっても多くの学びをもたらし、次の遊びへと繋がっていきました。
子どもたちの声に耳を傾けながら、あそびを進めてきました。
非現実の情報に触れることの多い現代、実物に触れ、そこから感じ取る多くの情報が、子どもたちの心にもたらす様々な変化を見逃さず、今後もあそびを広げていきます。